

# 令和8年度 明治杯 全日本選抜レスリング選手権大会



令和8年5月21日（木）から24日（日）までの間、駒沢オリンピック公園 総合運動場 体育館（東京都世田谷区）において「令和8年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が開催された。本校からは古市雅子（ふるいちまさこ）2等陸尉以下35名（フリースタイルレスリング12名、グレコローマンレスリング14名、女子レスリング9名）が出場し、5階級で優勝の成果を納めた。本大会は2026シニア世界選手権大会及び第20回アジア競技大会の代表選考を兼ねており、2025年に実施された天皇杯及び今大会での優勝者が各階級の代表となる。2大会の優勝者が異なる場合は、各日全試合終了後にそれぞれの優勝者によるプレーオフが行われ、その勝者が代表となる。

フリースタイルレスリング86kg級 石黒隼士（いしぐろはやと）3等陸尉は、初戦となる神谷選手（日本体育大学）との準々決勝で開始2分47秒でテクニカルスペオリティ勝利。準決勝は持ち前のテクニックで着実に白井選手（TeamSSP）からポイントを奪い5-1で決勝へ駒を進めた。19歳の岡澤選手（慶應義塾大学）との決勝では、第1ピリオド前半で先制ポイントを取り、後半タックルからのローリングを決め、試合開始2分25秒でテクニカルスペオリティ勝ちで優勝した。試合後「優勝できて安心している。色々な方々に支えられてこの場に立てたので、恩返しができる良かったと思う。



アジア大会・世界選手権代表権獲得  
フリースタイルレスリング86kg級  
3等陸尉 石黒隼士



岡澤選手は勢いもあって強いのも知っていたが、昨年メダルを取ってから少しプライドみたいな気持ちもあり、まだまだ負けないぞという気持ちで挑んだ。昨年の世界選手権で負けてからは自分との戦いが続き、気持ちの浮き沈みと先の見えない不安の中で1年間向き合ってきた。今後の試合は、優勝しか考えていないので優勝できるようなプランを考えて挑みたい。」と語った。



アジア大会・世界選手権代表権獲得  
フリースタイルレスリング125kg級  
2等陸曹 山本泰輝



8度目の優勝を狙うフリースタイルレスリング125kg級 山本泰輝（やまもとたいき）2等陸曹は、織山選手（中央大学）との準々決勝を開始49秒でのテクニカルスペオリティで勝利すると、長谷川選手（大阪体育大学浪商高等学校）との準決勝では2-1の接戦の末決勝に進んだ。決勝の藤田選手（日本大学）との試合は、開始8秒で相手の足を捉え4回のローリングを決め、準々決勝を上回る開始29秒テクニカルスペオリティで快勝し優勝を決めた。試合後「前日の試合で身体や感情の状態が良くなかった。今日はそれを振り返ってしっかりやった結果が出た。アジア大会と世界選手権を目指してずっと練習してきたので、今後の試合に向かって毎日の練習を楽しみながらも必死にやりたいと思ってる。外国人選手に勝つには全てを強化しないとイケない。それが日々の練習の目標・課題なので、次回の試合に向けて練習を続けたい。」と語った。

（この部分のテキストは上記のブロックに統合されています）



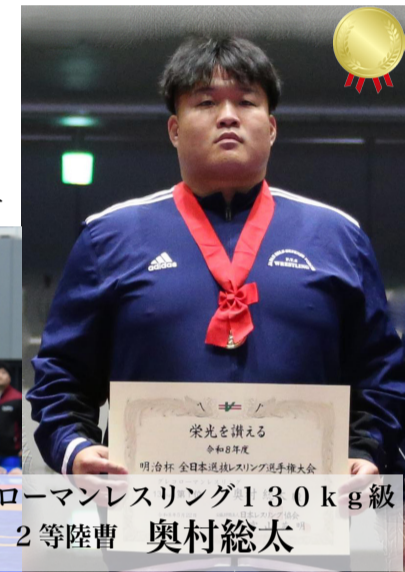
**世界選手権代表権獲得**  
フリースタイルレスリング70kg級  
2等陸曹 富山悠真



フリースタイルレスリング 70kg級 富山悠真（とみやまゆうま）2等陸曹は、初戦となる八隅選手（早稲田大学）との準々決勝を5-2で勝利し、本名選手（育英大学OB）と準決勝においても6-2と両試合共に攻守にわたり集中が途切れることなく確実に勝ち進んだ。決勝は成國選手（筒井メディカルグループ）の棄権により優勝となり、世界選手権代表の権利を獲得した。試合後、富山2曹は「

不戦勝という形となったが、4月から自衛隊で練習を重ね優勝という形で結果を出せてホッとしている。決勝相手の成國選手は返しが上手い選手なので、そこをしっかりと対応しよう意識していた。自分はまだ日本チャンピオンの実力はないと感じているし、周りの方もそう思うと思う。しっかり練習をして、次の大会でも良い結果を出せるよう頑張りたい。自衛隊の担当コーチ達は的確なアドバイスはもちろん、トレーニングからしっかり見てくれ本当にいい環境だと思っている。あとは自分が強くなるだけ。この環境でやれば強くなれると思う。」と語った。

グレコローマンレスリング 130kg級 奥村総太（おくむらそうた）2等陸曹は、準々決勝で三宅選手（九州共立大学）を10-3で勝利、小畑選手（日本プロレスリング株式会社）との準決勝では序盤1ポイント、その後ローリングで2ポイントを奪い、第2ピリオドは1ポイントを返されるも隙を見せない試合運びで3年ぶりの優勝に向けて決勝へ進んだ。9連覇を狙う奈良選手（警視庁第6機動隊）との決勝は、第1ピリオド開始1分で勝利につながる先制ポイントを取り、第2ピリオドも相手にプレッシャーをかけ続け、途中1ポイントを返され同ポイントで試合は終了したが、先制ポイントを取得した奥村2曹が優勝を決めた。プレーオフでは再び奈良選手と日本代表の座をかけて対戦したが惜しくも敗れた。対戦後のコメントでは「プレーオフを勝ち切れなかったのは自分の弱さが出た。自分の押しに対しての相手の組みが上手かったところに自分がついていけないのが原因。しかし決勝で勝てた経験を活かし次の天皇杯に向けて切り替え、しっかり勝ち切れるようにやっていきたい」と語った。



グレコローマンレスリング130kg級  
2等陸曹 奥村総太



**世界選手権代表権獲得**  
女子レスリング59kg級  
2等陸曹 山口夏月

女子レスリング 59kg級 山口夏月（やまぐちなつき）2等陸曹は、膝の痛みを抱える中での戦いとなった。準々決勝は筒井選手（法政大学）の棄権より不戦勝となり、長谷川選手（南九州大学）との準決勝は、第2ピリオド序盤の攻めで逆転勝利。互いに初優勝を狙う伊藤選手（日本体育大学）との決勝は第1ピリオドから1-1の接戦が続く中、第2ピリオド後半にタックルで1ポイントを取られるも2ポイントを取り返し逆転する。終了間際に相手に投げられ逆転されたものの体育学校側のチャレンジが入り、ビデオ判定の結果チャレンジが認められ優勝した。試合後「優勝を目標にしていたので、達成できたことが本当に嬉しい。後半自分の詰めが甘いところが出てしまったので、そこはまた次に活かしていきたい。社会人選手として良いスタートを切れた。ケガが続いてなかなか思うような結果が出ず進路等で悩んだが、周りの方の支えでここに帰って来ることができ、チャンスをもものにできたのは嬉しい。次の大会でも自分がどこまでいけるのか、チャレンジャーとして精一杯やり切りたい。怪我をしない身体作り・試合でも最後まで自分の力が出し切れるようなスタミナをつけて、ポイントを取り切れる選手になりたい。」と述べた。

### 総合成績（メダリストのみ）

#### フリースタイルレスリング

- 優勝 70kg 富山 悠真 2等陸曹
- 優勝 86kg 石黒 隼士 3等陸尉
- 優勝 125kg 山本 泰輝 2等陸曹
- 3位 74kg 高田 熙 2等陸曹
- 3位 92kg 内田 貴斗 陸士長
- 3位 97kg 三浦 哲史 2等陸曹

#### グレコローマンレスリング

- 優勝 130kg 奥村 総太 2等陸曹
- 準優勝 87kg 阪部 創 2等陸曹
- 準優勝 97kg 鶴田 峻大 3等陸尉
- 3位 60kg 河名 真偉斗 3等陸尉
- 3位 60kg 曾根 敬次郎 陸士長
- 3位 67kg 澤田 幸明 2等陸曹
- 3位 77kg 櫻庭 功大 2等陸尉
- 3位 82kg 谷崎 大造 陸士長

#### 女子レスリング

- 優勝 59kg 山口 夏月 2等陸曹
- 準優勝 53kg 村山 春菜 2等陸尉
- 3位 53kg 今井 佑海 2等陸曹
- 3位 57kg 徳原 姫花 3等陸曹
- 3位 65kg 榎本 美鈴 陸士長